

当院の回復期リハビリテーション病棟の実績について

令和8年6月1日

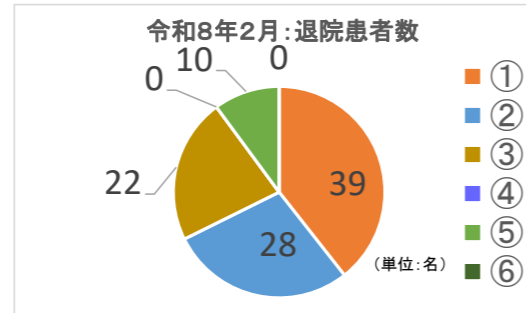
【回復期リハビリテーション病棟の対象疾患】

区分	疾患
①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態
②	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、または2肢以上の多発骨折の発症後、又は手術後の状態
③	外科手術または肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており手術後または発症後の状態
④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態
⑤	股関節または膝関節の置換術後の状態
⑥	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心血管疾患または手術後の状態

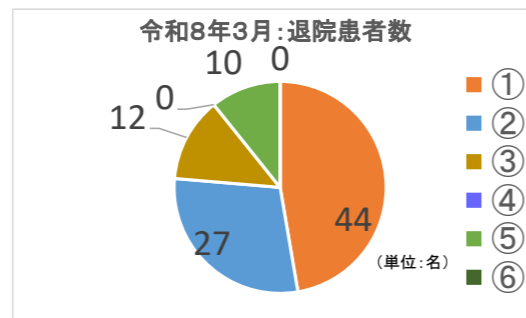
【疾患別退院患者数】

※疾患については、上記をご参考になさってください。

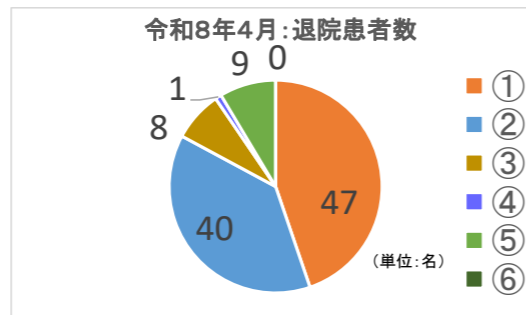
令和8年2月		名
99		
①	39	名
②	28	名
③	22	名
④	0	名
⑤	10	名
⑥	0	名



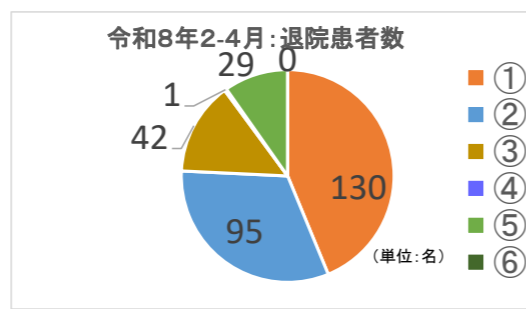
令和8年3月		名
93		
①	44	名
②	27	名
③	12	名
④	0	名
⑤	10	名
⑥	0	名



令和8年4月		名
105		
①	47	名
②	40	名
③	8	名
④	1	名
⑤	9	名
⑥	0	名



令和8年2月～4月		名
297		
①	130	名
②	95	名
③	42	名
④	1	名
⑤	29	名
⑥	0	名



回復期リハ病棟におけるリハビリテーション実績指数とは

実績指数とは…リハビリの効果を測る指標の一つです。

退院した患者さんについて、入院時と比べてどのくらい回復したかを点数化し、それに要した入院期間を下記の計算式に当てはめて算出します。実績指数が27点以上で、「効果に係る相当程度の実績が認められる」と判断されます。実績指数の数値が大きいほど、リハビリの効果があつたと言えます。当院は、厚生労働省が定めた基準により「実績指数42以上」である必要があります。

実績指数の計算式

$$\frac{\text{① 退院時のFIM得点(運動項目)} - \text{入院時FIM得点(運動項目)}}{\text{② 各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{当該患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数}}$$

FIMとは? 機能的自立度評価表 (Functional Independence Measure) の略で、実際の日常生活動作 (ADL) を評価する方法です。運動項目 (食事・更衣・トイレ等) 13項目と認知項目 (理解・記憶等) 5項目に分かれており、全18項目を介助量に応じて7段階で評価します。各項目1～7点で採点され、合計点数は18～126点です。点数が高いほど生活に必要な介助量が少なく、日常生活の自立度が高いことが分かります。



【当院のリハビリテーション実績指数報告】

期間	当院の実績指数
令和8年2月	51.9
令和8年3月	54.7
令和8年4月	49.2
令和7年11月～令和8年4月	49.3

